

令和元年度

生涯教育研究所事業実績報告書

(事務局:生涯学習課)

令和元年度事業実績報告書 事業分類番号一覧

大分類	中分類	小分類	細分類	ページ番号
1 世代共通	1 学習分野	3 地域の人財を発掘して活躍の場を設け、世代間交流を図りながら地域の教育力を高めます。 「学校応援ボランティアリスト」の充実と利用促進を図ります。	02 学校応援ボランティアリストの拡充	1
2 生涯各期	2 青少年期	1 家庭・地域・学校が一体となり、児童生徒の健全育成活動と生活習慣の改善を推進します。 生活習慣改善のための継続調査・啓発活動を行います。	07 生活習慣改善のための継続調査・啓発活動	
3 施設・機関	6 研究所	3 研究紀要、所報を定期発行・発刊するとともに、資料を充実します。	01 研究紀要・所報「ふれット」の発行	2
			02 「育てよう別海町の学びの木」の発達課題の見直しとカレンダー発行	

3-5-1-01					
分類	3-5-1 施設・機関-研究所		担当課	生涯教育研究所	
推進目標	「目で見る別海町の生涯教育」の改訂を行います。				
事業名	「育てよう別海町の学びの木」の見直し				
事業内容・目的	「育てよう別海町の学びの木」について、現代的な課題に対応するため、その構成及び内容について見直しを行います。また、その内容について毎年カレンダーとして発行することで周知を図ります。				
評価指標	1. 「育てよう別海町の学びの木」カレンダーの発行				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標 1	1回	1 回	1回	1回	1 回
目標 2					
実績 1	1回				
実績 2					
評価	A				

2019年度報告事項

各世代において、特段に考慮すべき学習や生活の指針となる「学びの木」について文言の訂正を行った。また、「学びの木」が掲載されているカレンダーを作成・町内に配布した。

3-5-2-01 1-1-3-04					
分類	3-5-2 施設・機関-生涯教育研究所 1-1-3 世代共通-学習分野	担当課	生涯教育研究所		
推進目標	「学校応援ボランティアリスト」の充実と活用促進を図ります。 学習の成果を地域で生かす機会を充実させます。				
事業名	学校応援ボランティアリストの拡充				
事業内容・目的	学校への地域人材活用事業である「学校応援ボランティアリスト」充実と利用促進を図ります。				
評価指標	1. 登録者数 2. 活用件数				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	40	40	40	40	40
目標2	10	10	15	15	15
実績1	50				
実績2	13				
評価	B				

2019年度報告事項

ボランティアリスト活用校は、町内16校の内、10校に留まっていることに加え、学校からの要望に適した人物が多くいる状況にないことから、今後も継続した人員の募集について進めたい。

3-5-3-01 2-2-1-05						
分類	3-5-3 施設・機関-生涯教育研究所 2-2-1 生涯各期-青少年期		担当課		生涯教育研究所	
推進目標	生活習慣改善のための継続調査・啓発活動を行います。 青少年健全育成と生活習慣改善のため、町ぐるみの取組を推進します。					
事業名	生活習慣改善のための継続調査・啓発活動					
事業内容・目的	保・幼・小・中・高や各地域の関係機関との連携を図り、「早寝・早起き・朝ご飯・テレビを止めて外遊び」「スイッチOFF22」をスローガンとする生活習慣改善を推進するための継続調査や啓発活動を実施します。					
評価指標	1. メディアコントロールWEEK時の小学校高学年の1日あたりのメディア利用平均時間					
備考						
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標1	110分	110分	110分	110分	110分	
目標2						
実績1	120分					
実績2						
評価	B					

2019年度報告事項

2018年時の130分からは減少しているもののインターネット・ゲームの利用時間は、若干の増加傾向にある。また、家庭内での一時的な取組とならないよう、平時の状況を調査している各学校の生徒指導部会と情報を共有するなどの取組も進めている。

3-5-4-01					
分類	3-5-4 施設・機関-研究所		担当課	生涯教育研究所	
推進目標	研究紀要、所報を定期発行・発刊するとともに、資料を充実します。				
事業名	所報「ふれット」・研究紀要の発行				
事業内容・目的	研究所の研究成果や実践研究内容を広く住民に周知するため、所報「ふれット」の発行、平成27年度発行の研究紀要の活用を図ります。				
評価指標	1. 所報の発行回数				
備考	※紀要の発行は不定期				
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	4	4	4	4	4
目標2					
実績1	1				
実績2					
評価	C				

2019年度報告事項

平成27年度の生活実態調査から多年が経過し、町内の最新状況について把握できる状況にない。メディアの利用状況など、新たな課題設定が必要な状況にある。